

「1+3+7」自由貿易試験区最新動向(1): これまでの成果及び新自由貿易試験区の 概要

April 2017
Issue 10

概要

2012年に設置された上海自由貿易試験区、並びに2015年に設置された広東、天津及び福建自由貿易試験区(以下「四大自由貿易試験区」と総称)は、投資、貿易、金融、起業・創業、申請過程及び事後の監督・管理等、多方面で大胆な改革を行い、成果を上げました。上記の2組の自由貿易試験区における成功をもとに、国務院は2017年3月31日、3組目に当たる7つの新自由貿易試験区の発展計画¹を正式に公布しました。これらの新自由貿易試験区は、遼寧省、浙江省、河南省、湖北省、陝西省、四川省及び重慶市において、これらの6省・1直轄市の指定する範囲内で設立されました。

新自由貿易試験区は、内陸の5つの省並びに沿海部の2つの省を網羅します。これを受けて、中国の自由貿易試験区は全部で沿海部の6つの省、並びに中部の2つの省及び西部の3つの省により構成されることになります。第13次5カ年計画において、中国は新たな改革を打ち出し、自由貿易試験区の拡大は産業集積の加速化を促進し、「一帯一路」、長江経済帯、中部発展、西部大開発、東北工業基盤の振興等、国家の重大発展戦略の実施に大きく寄与するものと見られます。

今回新たに設置された7つの新自由貿易試験区は、その地域の特徴を活かし、独自の機能と発展の方向性を前面に打ち出しています。本稿では、これら7つの新自由貿易試験区についてその概要をご紹介します。各地の発展の動向をお伝えします。私どもは引き続き各自由貿易試験区及びその発展計画について政策の要点をまとめ、専門家の観点による分析をご紹介します予定です。

詳細

四大自由貿易試験区の成果の評価

上海・広東・天津・福建の四大自由貿易試験区は、設置から約4年を経て投資、貿易、金融、起業・創業、申請過程及び事後の監督・管理等、多方面において継続的な改善を図っており、再現可能かつ拡張可能な改革のノウハウを蓄積してきました。投資管理制度の改革の観点から、四大自由貿易試験区が外資による中国市場参入における、「プレエントリー内国民待遇」並びに「ネガティブリスト」管理モデルを導入し、商事登記制度改革を推し進め、企業設立の「一元的窓口」

及び対外投資協力の「ワンストップ」サービスを立ち上げたことから、当該パイロットプログラムの成果が顕著に見て取れます。貿易規制制度の観点から見ると、自由貿易試験区では、税関による「一線開放、二線安全高効率管理」(中国語では“一线放开、二线安全高效管住”)の監督モデルを継続的に改善させており、保税貨物の状態に基づく分類監督等の措置を実施しており、通関効率が平均で約40%向上しました。金融規制緩和及び起業・創業の観点では、自由貿易試験区内にクロスボーダー双方向人民元キャッシュ・プーリング業務を立ち上げ、区内の企業が国内外に資金融通する手続を簡素化し、多国籍企業グループ内の資金の運用効率を大幅に

高めています。上海自由貿易試験区自由貿易口座パイロットプログラムは、人民元業務から外貨にまで適用が拡大され、広東、天津及び福建自由貿易試験区では信用力のある零細企業の借入に対する担保を免除する、「銀税連動」(中国語では“银税互动”)と呼ばれる新たな融資優遇措置が採用されています。

2016年10月、国務院の通達²により、中国全土で新たに12の自由貿易改革パイロットプログラムが導入され、これにはネガティブリスト以外の分野の外商投資企業の設立及び登記変更の審査・承認の改革、企業の登記及びその抹消の簡易化、アウトバウンド加工の監督、原産地証明管理改革、並びに税関による企業の

輸出入信用情報公開制度等の新たな措置が含まれます。この動きは、自由貿易試験区パイロットプログラムの有効性を具体的に示す成果と言えるでしょう。

全体として、自由貿易試験区の運営環境は国内外の投資者から大きな関心を集めています。商務部発展研究センター等、第三者機関による上海自由貿易試験区に対する合同調査で、回答企業の82%が運営環境が確実に改善したと答え、同じく95%以上が今後の発展に積極的な期待感を持っていることが示されました。

7つの新自由貿易試験区の概要

今回新設された7つの自由貿易試験区は、沿海部を含むだけでなく、内陸の省にも拡大しており、東部を網羅すると同時に、中西部も範囲に収め、各地域の利点を活かすことで戦略性のあるパイロットプログラムとなっています。各自由貿易試験区の詳細は以下の通りです。

遼寧自由貿易試験区

瀋陽、大連及び營口の3つのエリアを含み、中でも大連エリアでは大連保稅区、大連輸出加工区、大連大窯湾保稅港區が整備されています。遼寧自由貿易試験区設置の目的は、東北地域の工業基盤の底上げと全体的な競争力の引き上げであり、国際的競争力を有する先進設備が整った製造業基盤の確立です。これを達成するために、大連金普新区、中徳(瀋陽)先端設備製造産業園の建設が予定されています。さらに、遼寧自由貿易試験区は、東北アジアの対外開放協力の新たな拠点及び国際海運・鉄道輸送を合わせた総合物流の重要拠点としての役割を担っています。

浙江自由貿易試験区

舟山離島エリア、舟山島北部エリア及び舟山島南部エリアを含む、浙江自由貿易試験区の重点は、バルク商品(油製品等)の貿易自由化の推進、並びにその関連設備の物流・貯蔵・製造等の国際的影響力のある資源配送拠点の創出です。

当該自由貿易試験区は、企業の参入資格、金融政策の策定、税関管理における利便性の向上、租税徴収政策の刷新等の分野で大きな前進を実現しました。浙江自由貿易試験区の舟山離島エリアでは、魚山島における環境に優しい石油化学の国際的一大拠点の建設が計画されています。舟山島北部エリアでは、石油製品等のバルク商品貿易の発展に重点が置かれています。舟山島南部エリアでは、バルク商品取引、航空関連製造業、部品物流等の発展に重点が置かれています。

河南自由貿易試験区

鄭州・開封・洛陽の3つのエリアを含みます。このうち、鄭州エリアには河南鄭州輸出加工区及び河南保稅物流センターが含まれます。河南自由貿易試験区は、「一帯一路」を取り囲む先進的な交通要所の建設、産業発展の推進、大都市建設等を目標に掲げ、複合輸送による国際物流センターの役割を担います。河南自由貿易試験区の鄭州エリアでは、先進的製造業、クロスボーダー電子商取引等の発展に重点が置かれています。開封エリアでは、メディカルツーリズム、文化金融(カルチュラル・ファイナンス)、革新的デザイン等、現代サービス業に重点が置かれています。洛陽エリアでは、精密機器製造業及び現代サービス業に重点が置かれています。

湖北自由貿易試験区

武漢(武漢東湖総合保稅区を含む)、襄陽(襄陽保稅物流センターを含む)及び宜昌の3つのエリアを含みます。湖北自由貿易試験区の目標は、戦略的新興産業とハイテク産業拠点の建設であり、中部地域の産業移転の要請に応じたものです。武漢は、湖北自由貿易試験区の要であり、国家による中部地域振興の戦略的核心都市であるとともに、戦略的新興産業やハイテク産業分野の投資に関する規制緩和、金融業発展の促進、優秀な人材の確保、監督制度等の簡便化を推進しています。

陝西自由貿易試験区

中心エリア(西安高新区、西安經濟開放区、西咸新区)、西安國際港務区及び楊凌の3つのエリアを含みます。これらのエリアは、西部地域のゲートウェイ都市の開放度を高め、物流・科学技術・教育・文化・観光・保健医療等の重点分野に注力しており、「一帯一路」構想に沿った国家經濟協力及び人文交流の新モデルの構築を目指しています。陝西自由貿易試験区の中心エリアでは、戦略的新興産業及びハイテク産業に重点が置かれています。西安國際港務区エリアでは、国際貿易、現代物流、金融サービス、観光・展示会、電子商取引等の産業の発展に重点が置かれています。

四川自由貿易試験区

成都天府新区エリア、成都青白江鐵路港エリア及び川南臨海エリアの3つのエリアが含まれます。これらのエリアは、中西部の省と、国際貿易の最前線にある地域とを結び、現代サービス業、精密機器製造業、ハイテク産業、臨空經濟、国際商品集積・中継輸送、特殊産業等の発展に力を入れており、西部地域の開放型經濟圏を創出し、西部大開發を大きく推進し、長江經濟帶における經濟成長の起爆剤としての役割が期待されます。

重慶自由貿易試験区

両江エリア(重慶兩路寸灘保稅港區を含む)、西永エリア(重慶西永総合保稅区及び重慶鉄道保稅物流センターを含む)及び果園港エリアの3つのエリアが含まれます。重慶自由貿易試験区では、先進製造業の創出が提唱されており、「一帯一路」の建設並びに長江經濟帶における国際物流の重要拠点及び港湾の建設を支援し、西部地域のゲートウェイ都市の全面的な開放を後押しし、西部大開發の大幅な前進が目標として掲げられています。両江エリアでは、ハイテク産業とハイテク製品集積区の設立に着手しています。西永エリアでは、加工貿易産業の転換・革新模範区の設立に着手しています。果園港エリアでは、複合輸送による物流中継輸送センターの設立に着手しています。

まとめ

既存の自由貿易試験区に、今回新たに設置された自由貿易試験区を加えると、合計で 11 の省にそのネットワークが広がり、沿海地域だけでなく、中部地域、西部地域並びに国境地域までも網羅されており、中国の新たな改革開放の方向性が示され、産業の発展や産業構造の刷新がさらに進むものと見られます。国家発展計画と合わせ、今回の新自由貿易試験区の展開には明確な目的と重点が見て取れます。具体的には、これら新自由貿易試験区は沿海部で遼寧省と浙江省を網羅し、遼寧自由貿易試験区は沿海部に属すると同時に国境地域にも属し、東北地域の老朽化した工業地帯の復興という重要な任務を担っており、今回の新自由貿易試験区の中でも最も注目を集めています。

「一帯一路」と「西部ゲートウェイ」戦略の観点から見ると、自由貿易試験区は重慶市・四川省・陝西省を網羅しています。「長江経済帯」戦略の観点から見ると、新自由貿易試験区は浙江省・湖北省・重慶市・四川省を網羅しています。河南自由貿易試験区と湖北自由貿易試験区は、中部地域振興の核心的省でもあります。今回の新自由貿易試験区の設置状況を分析すると、相互に交差・影響し、各地域の特徴を結びつけ、新たな経済の成長基盤を有効かつ効率的に創出することが期待されます。

企業の観点から見ると、自由貿易試験区の利便性向上及び制度刷新は重要な関心事項であり、これは主に投資管理、通関管理、クロスボーダー資金移動、サービス消費等の方面における利便化と刷新により体现されています。各省は利便性の向上と制度刷新に力を入れており、自由貿易試験区の各エリアで独自の特徴や利点が享受できるパイロットプログラム案を策定中です。四大自由貿易試験区パイロットプログラムの成果を見てみると、計画全体の 90%超が完了しており、企業が新自由貿易試験区内で投資または業務展開を希望する場合、各エリアの規則・法令等を十分に理解する必要があります。私ども PwC 中国は今後も継続して自由貿易試験区の動向を分析し、政策の利点及び投資チャンスについて専門家の観点から私どもの見解を随時ご紹介していく予定です。

注釈

1. 新たに設置された 7 つの自由貿易試験区の発展計画の詳細は、以下の URL をご参照ください。

中国（遼寧）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182284.htm

中国（浙江）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182288.htm

中国（河南）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182296.htm

中国（湖北）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182299.htm

中国（陝西）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182306.htm

中国（四川）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182304.htm

中国（重慶）自由貿易試験区発展計画：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182300.htm

2. 「自由貿易試験区推進のための新改革パイロットプログラム全国拡大作業に関する国務院通知」(国発 [2016] 63 号)の詳細は、以下の URL をご参照ください。
http://www.gov.cn/zhengce/content/2016-11/10/content_5130918.htm

お問い合わせ

今回のニュースフラッシュ掲載内容に関するお問い合わせは、**PwC's China Tax and Business Service** までお気軽にご連絡ください。

Peter Ng
+86 (21) 2323 1828
peter.ng@cn.pwc.com

Spencer Chong
+86 (21) 2323 2580
spencer.chong@cn.pwc.com

Edwin Wong
+86 (10) 6533 2100
edwin.wong@cn.pwc.com

Alan Yam
+86 (21) 2323 2518
alan.yam@cn.pwc.com

Charles Lee
+86 (755) 8261 8899
charles.lee@cn.pwc.com

With close to 2,700 tax professionals and over 170 tax partners across Hong Kong, Macau, Singapore, Taiwan and 19 cities in Mainland China, **PwC's Tax and Business Service Team** provides a full range of tax advisory and compliance services in the region. Leveraging on a strong international network, our dedicated China Tax and Business Service Team is striving to offer technically robust, industry specific, pragmatic and seamless solutions to our clients on their tax and business issues locally.

本稿では、中国または中国大陸は中華人民共和国を指しますが、香港特別行政区、マカオ特別行政区、及び台湾はこれに含まれません。

本稿は一般事項に関する記述であり、関連する全ての事項について完全に網羅しているわけではありません。法律の適否とその影響は、具体的・個別な状況により大きく異なります。本稿の内容に関連して実際に具体的な対応をとられる前に、PwC クライアントサービスチームに御社の状況に応じたアドバイスをお求めになれますようお願い申し上げます。本稿の内容は 2017 年 4 月 1 日現在の情報にもとづき編集されたものであり、その時点の関連法規に準じています。なお日本語版は英語版をもとにした翻訳であり、翻訳には正確を期しておりますが、英語版と解釈の相違がある場合は、英語版に依拠してください。

本稿は中国及び香港の **PwC ナショナル・タックス・ポリシー・サービス** により作成されたものです。当チームは専門家により構成されるプロフェッショナル集団であり、現行または検討中の中国、香港、シンガポール及び台湾の税制およびその他ビジネスに影響する政策を随時フォローアップし、分析・研究に専念しています。当チームは良質のプロフェッショナルサービスを提供することで PwC の専門家をサポートし、また思想的リーダーシップを堅持し、関連税務機関、その他政府機関、研究機関、ビジネス団体、及び専門家、並びに PwC に関心をお持ちの方々とノウハウを共有いたします。お問い合わせは、以下の担当パートナーまでお気軽にご連絡ください。

Matthew Mui
+86 (10) 6533 3028
matthew.mui@cn.pwc.com

既存または新たに発生する問題に対する実務に即した見識とソリューションは、中国のウェブサイト <http://www.pwccn.com> または香港のウェブサイト <http://www.pwchk.com> にてご覧いただけます。

“1+3+7”自贸区新格局系列（一）：成效回顾及新自贸区总体介绍

二零一七年四月
第十期

摘要

2012年挂牌的上海自贸区以及2015年挂牌的广东、天津、福建自贸区（以下统称“四大自贸区”）在投资、贸易、金融、创业创新、事中事后监管等多个方面进行了大胆探索并取得成效。在上述两批自贸区成功经验的基础上，国务院于2017年3月31日正式发布第三批七个新自贸区的总体方案¹。第三批自贸区在辽宁省、浙江省、河南省、湖北省、陕西省、四川省和重庆市，这七个省/市指定范围内设立。

第三批自贸区覆盖了5个内陆省份和2个沿海省份。成立后，中国自贸区构成了6个沿海省份、2个中部省份和3个西部省份的新格局。第十三个五年计划中国迎来新一轮改革，自贸区的扩围有利于形成产业重新集聚并更好地配合“一带一路”、长江经济带、中部崛起、西部大开发、振兴东北老工业基地等国家重大发展战略的实施。

七个新自贸区结合其地域特点，各自设定了功能定位和发展重点。在本期《中国税务/商务新知》中，我们将对七个新自贸区进行总体介绍并突出各地发展重点。普华永道后续会出台系列文章，针对每个自贸区及其片区的实施方案具体分析其政策亮点并分享我们观察到的投资机会。

详细内容

四大自贸区建设阶段性成效的回顾

4年多以来，上海、广东、天津、福建四大自贸区在投资、贸易、金融、创业创新、事中事后监管等多方面进行探索，形成一批可复制、可推广的改革经验。从投资管理体制改革上看，四大自贸区深入试点外商投资准入前国民待遇加负面清单管理模式，开展商事登记制度改革，推行企业设立“一口受理”及对外投资合作“一站式”服务，试点成效显著。从贸易监管制度

上看，自贸区不断优化“一线放开、二线安全高效管住”的监管模式，实施货物状态分类监管等举措，使得通关效率平均提高约40%。从金融开放创新上看，自贸区内建立跨境双向人民币资金池业务，简化区内企业境内外资金调拨手续，大幅提升了跨国公司集团内资金的使用效率；上海自贸区自由贸易账户试点由人民币业务拓展至外币；而广东、天津、福建自贸区推出“银税互动”诚信小微企业贷款免除担保等金融创新。

2016年10月，国务院发文²在全国范围内复制推广12项自由贸易新一批改革试点经

验，其中包括：负面清单以外领域外商投资企业设立及变更审批改革、企业简易注销、出境加工监管、原产地签证管理改革创新、海关企业进出口信用信息公示制度等。这体现了自贸区政策试点的阶段性成效。

总体来看，自贸区营商环境受到境内外投资者的欢迎。商务部发展研究中心等第三方机构对上海自贸区联合评估显示，82%的受访企业反映营商环境进步明显，95%以上的企业看好后续发展。

七个新设自贸区的总体介绍

第三批新设的七个自贸区，不但包括沿海地区，也延伸

www.pwccn.com

到了内陆省份，覆盖东部地区的同时，也兼顾中西部地区，结合各地区优势以及承载的战略任务，形成各具特色、各有侧重的试点方案。具体来看：

辽宁自贸区

包括沈阳、大连、营口三个片区，其中大连片区含大连保税区、大连出口加工区、大连大窑湾保税港区。辽宁自贸区的定位是提升东北老工业基地发展整体竞争力，其将打造成具有国际竞争力的先进装备制造业基地，提出建设大连金普新区、中德（沈阳）高端装备制造产业园。此外，辽宁自贸区将作为东北亚对外开放合作的新引擎以及国际海铁联运大通道的重要枢纽。

浙江自贸区

包括舟山离岛片区、舟山岛北部片区以及舟山岛南部片区这三个片区。浙江自贸区的重点是推动大宗商品（油品等）贸易自由化及其配套装备物流、仓储、制造等使之成为具有国际影响力的资源配置基地。其将在企业准入资质、金融政策配套、口岸监管便利、税收政策创新等领域取得突破。浙江自贸区的舟山离岛片区鱼山岛重点建设国际一流的绿色石化基地；舟山岛北部片区重点发展油品等大宗商品贸易；舟山岛南部片区重点发展大宗商品交易、航空制造、零部件物流等。

河南自贸区

包括郑州、开封、洛阳三个片区。其中郑州片区包含河南郑州出口加工区和河南保税物流中心。河南自贸区围绕建设“一带一路”现代综合交通枢纽、发展大物流、培育大产业、形成大都市等目标，把打造多式联运国际性物流中心作为重点。河南自贸区的郑州片区将重点发展先进制造业、跨境电商等；开封片区将重点发展医疗旅游、文化金融、创意设计等现代服务业；洛阳片区将重点发展高端制造业及现代服务业。

湖北自贸区

包括武汉（含武汉东湖综合保税区）、襄阳（含襄阳保税物流中心）、宜昌三个片区。湖北自贸区的目标是建设一批战略性新兴产业和高技术产业基地，从而落实中部地区承接产业转移的要求。武汉是湖北自贸区的重点，也是国家中部地区崛起战略的核心城市，其提出将探索推进战略性新兴产业、高新技术产业领域的投资开放、金融创新、人才引进以及监管制度等便利措施。

陕西自贸区

包括中心片区（西安高新区、西安经开区、西咸新区）、西安国际港务区和杨凌三个片区。其定位是加大西部地区门户城市开放力度，围绕物流、科技、教育、文化、旅游、健康医疗等重点领域，进一步探索构建与“一带一路”沿线国家经济合作和人文交流的新模式。陕西自贸区的中心片区将重点发展战略性新兴产业和高技术产业。西安国际港务区片区将重点发展国际贸易、现代物流、金融服务、旅游会展、电子商务等产业。

四川自贸区

包括成都天府新区片区、成都青白江铁路港片区以及川南临港片区三个片区。其作为中西部省份与国际接轨最前沿的区域，将重点发展现代服务业、高端制造业、高新技术产业、临空经济、国际商品集散转运、特色优势产业等，力求打造西部地区开放型经济高地，深入推进西部大开发以及在长江经济带中发挥的作用。

重庆自贸区

包括两江片区（含重庆两路寸滩保税港区）、西永片区（含重庆西永综合保税区和重庆铁路保税物流中心）和果园港片区三个片区。重庆自贸区提出做大做强先进制造业的任务，并致力于服务“一带一路”建设和长江经济带发展的国际物流

枢纽和口岸高地，推动构建西部地区门户城市全方位开放新格局，带动西部大开发战略深入实施。两江片区着力打造高端产业与高端要素集聚区；西永片区着力打造加工贸易转型升级示范区；果园港片区着力打造多式联运物流转运中心。

注意要点

第三批自贸区挂牌后，自贸区的平台总共扩展到了 11 个省份，不仅包括沿海地区，也深入到中部地区，西部地区和沿边地区，体现了中国新一轮改革开放的新格局，有利于产业的重新集聚。结合国家发展大战略，第三批自贸区布局目的性、重点性明确。具体来看：第三批自贸区在沿海省份布局了辽宁省和浙江省，而辽宁自贸区既是属于沿海也是属于沿边，其承载着东北老工业基地改革的重要任务，是本次自贸区的重头戏。就“一带一路”和“西部门户”战略来看，第三批自贸区布局重庆市、四川省、陕西省。就“长江经济带”战略来看，第三批自贸区布局浙江省、湖北省、重庆市、四川省。而河南自贸区、湖北自贸区又是中部崛起的核心省份。第三批自贸区的布局相互交叉、互相影响，结合区域特色，可有效形成新的经济增长点。

对于企业来说，自贸区的便利化及制度创新是重点，其主要体现在投资管理、通关口岸、资金跨境、服务消费等方面的便利和创新。各个省份紧扣便利和创新，为其自贸区各个片区制订了各具特色、各有侧重的试点方案。就四大自贸区试点成效来看，总体方案实施率超 90%，企业如有兴趣在第三批自贸区所覆盖范围内进行投资或开展业务，有必要深入了解各个片区的实施方案。普华永道后续会出台第三批自贸区系列文章，就各个自贸区及其片区亮点政策，其释放的政策红利及投资机会分享我们的观察，敬请期待。

注释

1. 第三批七个自贸区的总体方案，请参见以下链接：
中国（辽宁）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182284.htm
中国（浙江）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182288.htm
中国（河南）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182296.htm
中国（湖北）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182299.htm
中国（陕西）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182306.htm
中国（四川）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182304.htm
中国（重庆）自由贸易试验区总体方案：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182300.htm
2. 《国务院关于做好自由贸易试验区新一批改革试点经验复制推广工作的通知》（国发[2016] 63号），请参见官方链接：
http://www.gov.cn/zhengce/content/2016-11/10/content_5130918.htm

与我们谈谈

为了更深入讨论本刊物所提及的问题对您业务可带来的影响，请联系**普华永道税务及商务咨询团队**：

吴家裕

+86 (21) 2323 1828
peter.ng@cn.pwc.com

任颖麟

+86 (21) 2323 2518
alan.yam@cn.pwc.com

庄子男

+86 (21) 2323 2580
spencer.chong@cn.pwc.com

李尚义

+86 (755) 8261 8899
charles.lee@cn.pwc.com

黄富成

+86 (10) 6533 2100
edwin.wong@cn.pwc.com

普华永道税务及商务咨询团队在中国内地 19 个城市、香港、澳门、台湾及新加坡均设有办公室。团队拥有接近 2,700 位专业税务顾问及超过 170 位合伙人，为客户提供全面的税务咨询及申报服务。结合普华永道强大的国际网络，我们的中国税务及商务咨询团队致力于为本地客户在他们的税务及商务问题上提供技术稳健、具有行业针对性、实用及全面的解决方案。

文中所称的中国是指中华人民共和国，但不包括香港特别行政区、澳门特别行政区和台湾地区。

本刊物中的信息仅供一般参考之用，而不可视为详尽的说明。相关法律的适用和影响可能因个案所涉的具体事实而有所不同。在有所举措前，请确保向您的普华永道客户服务团队或其他税务顾问获取针对您具体情况的专业意见。本刊物中的内容是根据当日有效的法律及可获得的资料于 2017 年 4 月 1 日编制而成的。

这份中国税务/商务新知由普华永道中国税收政策服务编制。**普华永道中国税收政策服务**是由富经验的税务专家所组成的团队。团队致力搜集、研究并分析中国、香港和新加坡现有和演变中的税务及相关商务政策，目的是协助普华永道税务部专业人员提供更优质的服务，并通过与有关的税务和其它政策机关、学院、工商业界、专业团体、及对我们的专业知识感兴趣的人士分享交流，以保持我们在税务专业知识领域的领导地位。

如欲了解更多信息请联系：

梅杞成

电话：+86 (10) 6533 3028
matthew.mui@cn.pwc.com

有关最新商业问题的解决方案，欢迎浏览普华永道 / 罗兵咸永道之网页：<http://www.pwccn.com> 或 <http://www.pwchk.com>

“1+3+7” China’s brand new pattern of Pilot Free Trade Zones (1): Achievements review and general introduction of the new PFTZs

April 2017
Issue 10

In brief

The launch of the Shanghai Pilot Free Trade Zone (PFTZ) in 2012 and the Guangdong, Tianjin, Fujian PFTZs in 2015 (hereinafter referred to as the “Four PFTZs”) to explore in areas, such as opening up of investment, trade and finance, encouraging entrepreneurship and innovations, as well as interim and post establishment administration, etc. have accomplished prominent achievements. Building on the successful experience of the first two batches of PFTZs, on 31 March 2017, the State Council officially released the development plan for the 3rd batch of 7 new PFTZs¹. The 3rd batch of PFTZs will be located within the designated area of 6 provinces and 1 municipality, i.e., the province of Liaoning, Zhejiang, Henan, Hubei, Shaanxi and Sichuan and the Chongqing municipality.

The 3rd batch of PFTZs covers 5 inland provinces and 2 coastal provinces. After the official launch, a new geographic pattern of PFTZs encompassing 6 coastal provinces, 2 central provinces and 3 western provinces will be formed. China will embrace a new round of reform under the national 13th Five-Year Plan. The expansion of PFTZs will re-cluster industries and complement national strategies such as the “One Belt One Road” initiative, “rise of central China”, “the development of western China”, “rejuvenation of the old northeast industrial bases” and “Yangtze River Economic Belt”, etc.

The 7 new PFTZs have respectively set their functions and development objectives based on their geographical characteristics. In this News Flash, we will provide a general introduction of these PFTZs and highlight their respective key areas. We will release a series of publications to analyse in detail the policy highlights in the implementation measures of each PFTZ, and to share our observations on the potential investment opportunities.

In detail

Review of the achievements of the Four PFTZs

After 4 years of exploration in areas, such as opening up of investment, trade and finance, encouraging entrepreneurship and innovations, as well as interim and post establishment administration, etc. since the launch of the Four PFTZs, a replicable reform experience

has been developed. In terms of the reform on the investment administrative regime, the Four PFTZs have successfully adopted the “pre-entry national treatment” plus “Negative List” administration model for foreign investment, underwent business registration reform, and set up “One Stop” service for company establishment and foreign investment. In terms of trading supervision system, the customs supervision model of “first-line released and second-line controlled” is constantly being optimized and the “classified supervision” according to the status of

bonded goods have improved customs clearance efficiency by approximately 40% on average. In terms of financial innovations, the two-way RMB cash pooling has simplified the capital transfer procedures for enterprises in the PFTZs and largely improved the efficiency of intra-group capital flow of multinational corporations; the piloted free trade account in the Shanghai PFTZ was expanded to include both RMB and foreign currency business; and the Guangdong, Tianjin and Fujian PFTZs have also implemented innovative financial measures, e.g.,

trust-worthy small-scaled and thin-profit enterprises can obtain loans without providing guaranty.

In October 2016, the State Council released a circular² to replicate and push forward a new batch of 12 items of reform experience nationwide, including the reform of the approval mechanism for the establishment and modification of foreign-invested enterprises which are outside the negative list, simplified procedure for de-registration, administration of export processing, innovative reform for the administration of certification for place of origin, customs' information public system for import and export credit of enterprises, etc., which demonstrates the achievements of the PFTZs.

In general, business environment in the PFTZs is welcomed by both domestic and foreign investors. According to the research conducted by third parties, such as the Development and Research Centre of the Ministry of Commerce, 82% of the interviewees said the business environment has been significantly improved, and over 95% of the interviewees are optimistic about the PFTZ's future development.

General introduction of the seven new PFTZs

The 3rd batch of seven newly-established PFTZs not only includes coastal areas, but also extends to the inland provinces and covers the eastern, as well as the central and western regions. The pilot plan is well balanced by incorporating their respective geographical characteristics and strategic tasks to form a pilot plan. In particular:

Liaoning PFTZ

It is comprised of 3 areas in Shenyang, Dalian and Yingkou. The Dalian area covers the Dalian Bonded Zone, Dalian Export Processing Zone and Dalian Dayaowan Free Trade Port Area. The key objectives of Liaoning PFTZ are to improve the competitive power of China's northeast old industrial base³ and to build it into an advanced equipment manufacturing base with international competitiveness. The development objectives include developing the "Jinpu New Area" in Dalian and "China-Germany High-end Equipment Manufacturing Industrial Park" in Shenyang. Further, Liaoning PFTZ will be a new engine to conduct the opening-up and cooperation in the

northeast Asia and an important hub in international sea transportation and railway transportation.

Zhejiang PFTZ

It is comprised of 3 areas in the Zhoushan offshore island area, North Zhoushan island area and South Zhoushan island area. The key objectives of Zhejiang PFTZ are to boost the liberalization of bulk trade of commodities (oil products etc.), to build an international competitive integrated base for resources with logistic, warehouse and manufacturing facilities. There will be breakthroughs in pre-entry, financial supporting policies, convenience in customs supervision and tax policies, etc. Zhoushan offshore island area will focus on the establishment of a world-class green petrochemical base in the Yushan island, North Zhoushan island area will focus on bulk trade of commodities such as oil products, and South Zhoushan island area will put effort on the development of bulk trade of commodities, aviation and spare parts logistics.

Henan PFTZ

It is comprised of 3 areas in Zhengzhou, Kaifeng and Luoyang. The Zhengzhou area covers the Henan Zhengzhou Export Processing Zone and Henan Bonded Logistics Centre. The Henan PFTZ focuses on establishing a modern comprehensive transportation hub along the "One Belt One Road", developing large logistics business, nurturing large industries, forming large metropolis, etc. The Zhengzhou area in Henan PFTZ will put effort on the development of advanced manufacturing industry and cross-border E-commerce. The Kaifeng area will focus on the development of modern service sectors such as medical tourism, cultural financing, innovative design, etc. The Luoyang area will focus on high-end manufactural sectors and modern service sectors.

Hubei PFTZ

It is comprised of 3 areas in Wuhan (including the Wuhan East Lake Free Trade Zone), Xiangyang (Xiangyang Bonded Logistics Center) and Yichang. It aims to develop a group of new strategic emerging industries and into a high-tech industry base so as to accommodate industry transfer to central China. As a key city in the Hubei PFTZ as well as a core city in the national strategy of the rise of

central China, Wuhan will explore facilitated measures in opening up investment financial innovations, talent introduction, supervision and administration to promote development in new strategic emerging industries and the science and new/high-tech sectors.

Shaanxi PFTZ

It is comprised of the central area in Shaanxi (Xi'an high-tech new area, Xi'an economic development zone and Xi'an new area), Xi'an international trade and logistic park and Yangling area. It aims to expedite the opening-up of the gateway cities in the western region in relation to key sectors, such as, logistics, science and technology, education, culture, tourism, health and medical services, to further explore new cooperative pattern in economic and cultural exchanges with countries along "One Belt One Road". The central area in the Shaanxi PFTZ will put efforts on the development of new strategic emerging industries and new/high-tech industries. The Xi'an international trade and logistics park area will focus on the development in international trade, modern logistics, financial service, tourism and exhibition as well as E-commerce.

Sichuan PFTZ

It is comprised of the Chengdu Tianfu new area, Chengdu Qingbaijiang Railway port area and South Sichuan Port area. As the region in the central and western China that has the closest international connection, the Sichuan PFTZ aims to encourage the development of modern services, high-end manufacturing, new/high-tech industry, airport economy, international transshipment of commodities and industry with specific characteristics advantages. The Sichuan PFTZ will strive to develop an open style economic highland in the western China and promote Western Reform and play an important role in the "Yangtze River Economic Belt".

Chongqing PFTZ

It is comprised of 3 areas in the Liangjiang area (covering Chongqing LiangLu-CunTan Free Trade Port Area), Xiyong area (covering Chongqing Xiyong Comprehensive Free Trade Zone and Chongqing Railway Bonded Logistics Center) and Guoyuan port area. Chongqing PFTZ has the task of expanding and improving the advanced manufacturing sectors and will

dedicate itself in serving the development of the “One Belt One Road” initiative and the transportation hub and port highland along the “Yangtze River Economic Belt”. Chongqing PFTZ will further build a new pattern of opening-up in the western regions and push forward the implementation of the strategy to develop the western regions. The Liangjiang area will focus on the high-end manufacturing sectors and a trading market for high-end essential elements. Xiyong area will focus on a demonstration zone for the transformation and upgrading of the processing trade. And Guoyan port area will focus on the establishment of a multi-model logistics transshipment centre.

The takeaway

After the 3rd batch of PFTZs are officially launched, the total coverage of PFTZs in China is expanded to 11 provinces, which not only involves coastal areas but also extends into China’s central, western and border areas. It earmarks the new economic layout under China’s new round of open-up reform and is favourable to the re-clustering of industries. Taking into account the state’s development strategy, the 3rd batch of PFTZs is set up with specific objectives and priorities. Specifically, Liaoning and Zhejiang, are coastal provinces in the new PFTZ list. Liaoning is a coastal as well as a border province with the major objective of reforming China’s northeast old industrial base. It is a major player in the new PFTZ batch. Meanwhile, the inclusion of

Chongqing municipality, Sichuan and Shaanxi province in the 3rd batch of PFTZs is in line with China’s “One Belt One Road” and “Western Gateway” national strategies; the inclusion of Zhejiang, Hubei, Sichuan provinces and Chongqing municipality is to support the “Yangtze River Economic Belt” state strategy; and the inclusion of Henan and Hubei, key provinces in central China, is for the development of central China. All in all, the layout of the 3rd batch PFTZs is interconnected and interacts with the respective local characteristics and will effectively create a new impetus for China’s economic growth.

For enterprises, facilitation and innovation in the PFTZs are the key areas, which are reflected in investment administration, customs administration, cross-border capital flow, consumption of services, etc. The provinces selected will follow this model and formulate their own specific pilot plans with local characteristics. Looking at the effectiveness of the first Four PFTZs, 90% of the pilot measures in the overall plan have been implemented. Enterprises who are interested in investing or operating business in the 3rd batch of PFTZs are recommended to study and understand the implementation schemes for each of the PFTZs. We will release a series of publications in this regard to share our observations on the policy incentives and potential investment opportunities in each of the PFTZs, please stay tuned.

Endnote

1. For the development plans of the 3rd batch of PFTZs, please refer to the official link below:
Development plan for Liaoning PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182284.htm
Development plan for Zhejiang PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182288.htm
Development plan for Henan PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182296.htm
Development plan for Hubei PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182299.htm
Development plan for Shaanxi PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182306.htm
Development plan for Sichuan PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182304.htm
Development plan for Chongqing PFTZ:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2017-03/31/content_5182300.htm
2. Notice Issued by the State Council *Improving the Work in Replicating and Promoting the New Pilot Experiences of the Pilot Free Trade Zones (Guofa [2016] No.63)*, please refer to the official link below:
http://www.gov.cn/zhengce/content/2016-11/10/content_5130918.htm

Let's talk

For a deeper discussion of how this issue might affect your business, please contact a member of **PwC's China Tax and Business Service** :

Peter Ng
+86 (21) 2323 1828
peter.ng@cn.pwc.com

Spencer Chong
+86 (21) 2323 2580
spencer.chong@cn.pwc.com

Edwin Wong
+86 (10) 6533 2100
edwin.wong@cn.pwc.com

Alan Yam
+86 (21) 2323 2518
alan.yam@cn.pwc.com

Charles Lee
+86 (755) 8261 8899
charles.lee@cn.pwc.com

With close to 2,700 tax professionals and over 170 tax partners across Hong Kong, Macau, Singapore, Taiwan and 19 cities in Mainland China, **PwC's Tax and Business Service Team** provides a full range of tax advisory and compliance services in the region. Leveraging on a strong international network, our dedicated China Tax and Business Service Team is striving to offer technically robust, industry specific, pragmatic and seamless solutions to our clients on their tax and business issues locally.

In the context of this News Flash, China, Mainland China or the PRC refers to the People's Republic of China but excludes Hong Kong Special Administrative Region, Macao Special Administrative Region and Taiwan Region.

The information contained in this publication is for general guidance on matters of interest only and is not meant to be comprehensive. The application and impact of laws can vary widely based on the specific facts involved. Before taking any action, please ensure that you obtain advice specific to your circumstances from your usual PwC's client service team or your other tax advisers. The materials contained in this publication were assembled on 1 April 2017 and were based on the law enforceable and information available at that time.

This China Tax and Business News Flash is issued by the **PwC's National Tax Policy Services** in China and Hong Kong, which comprises of a team of experienced professionals dedicated to monitoring, studying and analysing the existing and evolving policies in taxation and other business regulations in China, Hong Kong, Singapore and Taiwan. They support the PwC's partners and staff in their provision of quality professional services to businesses and maintain thought-leadership by sharing knowledge with the relevant tax and other regulatory authorities, academics, business communities, professionals and other interested parties.

For more information, please contact:

Matthew Mui
+86 (10) 6533 3028
matthew.mui@cn.pwc.com

Please visit PwC's websites at <http://www.pwccn.com> (China Home) or <http://www.pwchk.com> (Hong Kong Home) for practical insights and professional solutions to current and emerging business issues.

© 2017 PricewaterhouseCoopers Consultants (Shenzhen) Ltd. All rights reserved. In this document, "PwC" refers to PricewaterhouseCoopers Consultants (Shenzhen) Ltd. which is a member firm of PricewaterhouseCoopers International Limited, each member firm of which is a separate legal entity.